

桜楓たより

第8号

編集・発行

日進桜楓霊苑案内所
株式会社 大興企画
〒470-0102
日進市藤島町寺下甲29
☎0561-72-5454

新年を迎えて

龍谷寺住職 成田隆真



新年明けましておめでとうございます。皆様お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年末には、新年を迎える準備に多くの方が日進桜楓霊苑に参拝されました。お墓には美しい花が供えられ、周囲はよい香が漂う程でした。旅立たれた方と、今を生きる方が、この日進桜楓霊苑で心を通わせていられる様子は心がなごみます。

「心の余裕がなく、日々の生活に追われていても、この日進桜楓霊苑に來ると、心が落ち着

く」という空間になるよう、整備を続けていきま

す。社会が何となく生きづら

く、色々な問題も多くあります。一人ひとりが日々「よい種をまく」気持ちで1年を過ごしたいものです。

「よい種」をまけば、よい事が生まれてきます。そうでない種をまけば、その連鎖が始まります。

今年亥年です。亥は猪突猛進と言われるように「勇氣」と「冒険」の心を持った干支で

す。また、猪の肉は、万病を防止。また、猪の肉は、万病を防止といわれ、無病息災の象徴とされています。今年一年がご家族一同、健康で仲良く過ごせるように、心にとりを持って過ごしていきましょう。

今、生かされている自分に感謝し、常に自分自身の心を振り返りながら一日、一日やり残すことなく、納得のいくような一日を私も皆さんも共に歩んでまいりましょう。

「一年草のように」
生も一度きり
死も一度きり
一度の人生だから
自分の花を咲かせよう
(詩人 坂村真民)

株式会社大興企画
代表取締役
平岡 寛



新年、明けましておめでとうございます。皆様には、穏やかな新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。日ごろは日進

桜楓霊苑をご利用賜り、誠にありがとうございます。第四プロジェクトも、大変ご好評をいただいております。重ねて厚く御礼申し上げます。

時代の変化と共にお墓に対する考え方や墓石の使い方にもさまざまな変化が出てきています。今までのような和風だけでなく、故人やご家族のメッセージを伝えるミニメントのよう

な使い方をされる方も多くなりました。

お一人、ひとりの想いを形にし、その方が生きてきた

人生の証やこれからの人生の道しるべとなるようなお墓づくりを考えていきたいと思っています。ここ日進桜楓霊苑は、故人と今を生きる人が快く交流を持てる場として、また穏やかに過ごせる場所になるように整備運営してまいります。

「一年の計は元旦にあり」と言われますが、皆様はどんな計画を立てられたでしょうか。大

徳寺住職 尾関宗園氏の詩は私の座右の銘ですが、それは「人生とは毎日が訓練の場である。失敗もでき、生きているを喜ぶ訓練の場である。今この幸せを喜ぶことなく、いつどこで幸せになれるか。この喜びをもとに全力で勧めよう。私自身の将来は今、この瞬間ここにある。今ここで頑張らずに、いつ頑張る」というものです。この銘を心に刻み、「知恵」を磨き、時に「勇氣」を持って決断し、皆様に「誠実さ」を持って接していきたいと考えています。

皆様にとりまして幸多き飛躍の年となりますよう、ご祈念申し上げます。

手造り・オリジナル仏壇専門店

さん ぜん どう

三千堂

伝えていきましょう
手と合わす感謝の心

米野木信号角

☎0561-74-5101

日進市米野木町東田面123-1
営業時間/午前9時～午後7時
定休日/毎週火曜日

観音巡礼の楽しみ

年改まり、新しい気持ちで過ごすように感じている皆様に「観音巡礼の旅」はいかがでしょうか。「巡礼」とは信仰を確認し、よりの深めようと霊場に旅することを言います。これは、世界に共通する行動で、キリスト教やイスラム教、ヒンドゥー教、ラマ教においても同じです。世界の巡礼は1つの大きな巡礼地があり、その中の礼拝所に参拝する、といったものですが、日本の巡礼は一定の地域のなかにある聖地を限定して巡るのが主となっています。それはたとえば、「西国三十三観音霊場」や「四国八十八霊場」とかの宗教的な意味を持つ数をいいます。



西国三十三所第三番札所

開創伝説

観音巡礼の創始者といわれる徳道上人は、『長谷寺縁起』などによると、齋明

途絶えていた観音巡礼が約270年後、花山法皇によって再興されることになりました。

花山法皇

花山法皇は、冷泉天皇の第一皇子として安和元年(968)に生まれ、永観2年(984)17歳で醍醐天皇より帝位を譲られ、第65代花山天皇となりました。しかし、最愛の弘徽殿女御・藤原伊伊の娘の死により無常を悟り元慶寺において落飾され、在位わずか2年で皇位を退き、寛和2年(986)19歳の若さで法皇となりました。その後、後、比叡山で修行し、書寫山の性空上人、河内石川寺の仏眼上人、中山寺の弁光上人等を伴って、那智山において修行し、西国観音霊場を巡拝され、観音巡礼を再興されました。晩年は、摂津国花山院(兵庫県三田市)に住まれ、寛弘5年(1008)、41歳の生涯を閉じられました。花山院には、御廟と称する宝篋印塔があります。

巡礼の歴史

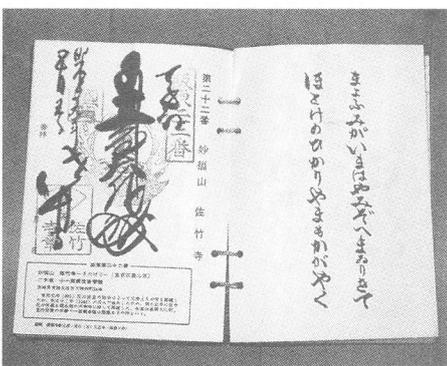
資料によれば、本格的な巡礼としては、園城寺の僧行尊による近畿地方における「観音霊場三十三所巡礼記」が最初です。行尊の巡礼は寛治4年(1090)のこととされており、第一番長谷寺から始まり第三十三番千手堂(三室戸寺)まででした。その後、三井寺の覚忠が巡り、番付は異なりますが所屬寺院は現行と同じでした。この巡礼では第一番が那智山で第三十三番は三室戸寺となっていました。時代が下がるにつれて、伊勢神宮参

拜や熊野三山参拝などと結びついて盛んになっていきました。

近畿地方に続いて、関東地方の坂東三十三所が開創されるに及んで、近畿地方の観音巡礼は「西国」の文字が冠されるようになり、室町時代には秩父巡礼も開創されました。その後、西国、坂東と合わせて日本百観音が提唱されました。今日までに、600コース以上が全国各地に開創され、なかには、北海道三十三観音霊場や柏尾三十三番(栃木県)など、西国三十三力所の本尊像を各札所寺院に配したコースなども設けられています。

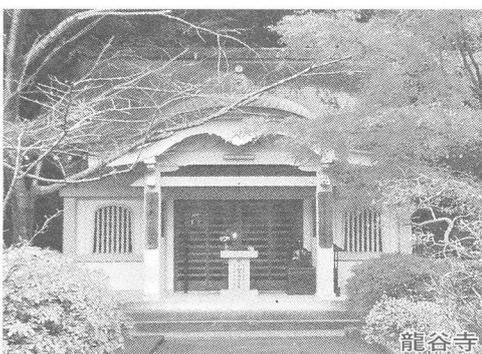
もともとは、札所本尊を安置する堂宇の柱などに、木製か金属製の納札を打ちつけたことから、札所寺院に参拝する事を「打つ」といいます。現在では、紙製の納札を納札箱に納めますが、札所参拝は、打つと表現します。その札所を打った証として、朱印帳(納経帳)・納経軸・笈摺・色紙等を受ける朱印の事を御朱印といっています。納経印・宝印ともいいます。

御朱印



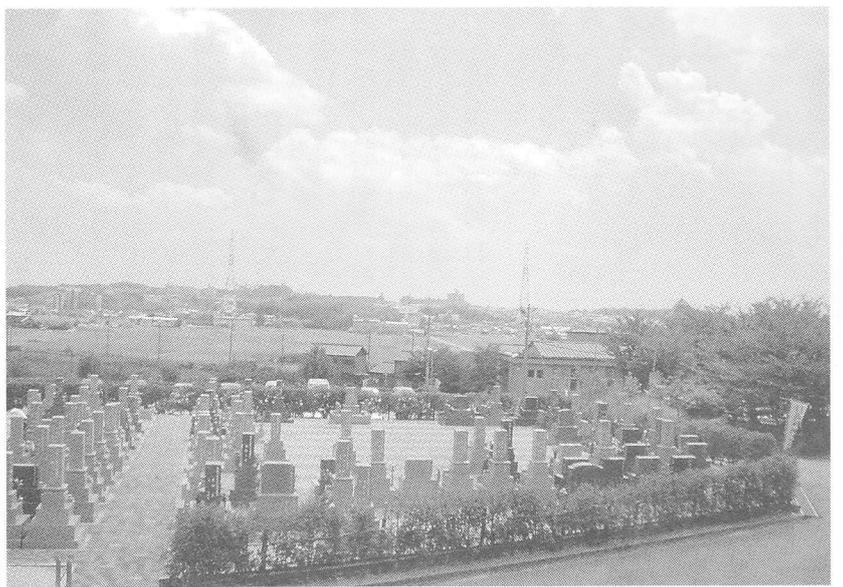
徳道上人が冥府で閻魔王から授かった三十三所の宝印が起源といわれています。一般に三つの印で構成され、右上に札所番付の札所印、中央に札所本尊の梵字を刻んだ本尊印、左下に札所名の寺院印が押され、本尊名などが墨書されます。御朱印は札所本尊の分身とされています。西国三十三観音、坂東三十三観音、秩父三十四観音などの寺は、大きな寺もあれば、無住の小さな寺もあります。それぞれの寺に歴史があり、訪れた人の心に「何か」を感じさせてくれます。心のよるところを求める現代人にとって、古くから行われた観音巡礼の旅は、単に楽しんでやおいしい味を体験するだけでなく、旅をした人の心を和ませ、人と人との旅を介して、共に交流をもつことのできる旅といえましょう。

なお、龍谷寺は、城東西国三十三観音の三番札所となっています。お申し出があれば、いつでも朱印を承ります。



城東三十三観音三番札所

日進桜楓霊苑



名古屋市東部、日進市の中心に「日進桜楓(おふう)霊苑」があります。小高い緑の丘陵に建つ霊苑は、春は桜、秋には楓が舞うところから「日進桜楓霊苑」と名づけられました。

お寺となる龍谷寺は、開創500年を迎えるという曹洞宗の名刹。開基は、藤原則武と伝えられ、その後三州篠原永沢寺3世心月宗光大和尚が三州の城

主・渡辺守綱の助力を得て、伽藍を整備し、当代の住職、成田隆真で38世となります。

当寺の36世は、曹洞宗管長と横浜市鶴見にある曹洞宗大本山総持寺の貫主を務めました。

すでにお墓が建立され、南面一列タイプの新区画「第四ブロック」も好評受付中です。ぜひ一度、お出かけください。

「石の不思議」

お墓の石に多く使用されるのが花崗岩です。

花崗岩は、約2億年〜6千万年前頃にマグマが固結して出来たと推定され、地球上で、最も分布面積の広い深成岩です。一般的には粒が粗く組織に方向性がなく、色調は白色・淡紅色・淡灰色などがあります。

ちなみに、御影石(みかげ石)の語源は、兵庫県東灘区御影町地区で産出された花崗岩を地域の名称にちなんで『みかげ石』と呼ぶようになった。

トルマリン(電気石ともいわれます)

※なぜ電気石なの?
加熱したり摩擦したりすると静電気が起きるので電気石と言われます。オパールと共に、10月の誕生石としても珍重されています。1990年代に入ってからトルマリンが大変健康に良いと言ったことが注目されました。

※何かいい効果あるのですか?
トルマリン原石は飲料水を美味しくしたり、お風呂に入れるとお肌がスベスベになったり、草木の寿命が長持ちしたり様々な効果があるようです。

特に、トルマリンで作ったコーヒークップやぐい飲みで飲まれると更に美味しくなるそうですよ。

※産地はどこですか?
ブラジル・アメリカ・アフガニスタン等で日本国内では、福島県です。

では次回はまだ珍しい石を紹介いたします。

洋風タイプのお墓



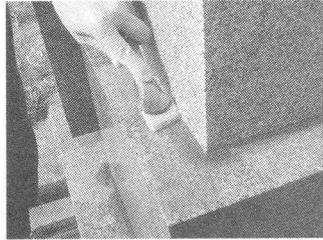
価格はデザインや墓石の色で異なります。

— お墓洗いセットを販売 —

日進桜楓霊苑では、「お墓洗いセット」を販売します。このセットは、パワークロス、花筒洗い用バー、強力水アカ取りの3点。

お墓の花筒、花立のヌメリには花筒洗い用バー(発砲スチール製)の先にパワークロスを巻きつけ、輪ゴムで止め、洗ってください。水鉢の汚れは、パワークロス、強力水アカ取りで、水アカは強力水あか取りで落とします。

環境を汚さず、石を傷つけず、水だけでOK。簡単、便利なセットです。980円(税込み)。予約要。現地販売所で販売。



第4ブロック
Aタイプ
名主屋型8寸
高級御影石

1,190,000円

第4ブロック
Cタイプ
名主屋型8寸
高級御影石

2,020,000円



日進桜楓霊苑

現地案内所 〒470-0102 日進市藤島町寺下甲29番地
フリーダイヤル (受付時間:午前9:30~午後4:30/定休日:毎週水曜日)
0120-5454-31
☎ 05617-2-5454

山門①(鐘楼門)

龍谷寺の鐘楼は、第二次世界大戦中に供出してしまい、長い間鐘楼のない時が続きました。昭和60年に龍谷三十六世成田芳髓大和尚は、山客整備事業を発願し、その一環として鐘楼を整備し、山門を二層にして鐘楼門としました。

鐘楼門の二層からは、広く日進市内を見おろすことができます。鐘楼門の天井には、龍谷三十六世成田芳髓大和尚の書、「延命十句観音経」が残されています。

この鐘を聞くことで、多くの人の心やすらぎを感じるように願って作られました。



また正門には「那羅延(まらえん)金剛力士」と「密迹(みつじやく)金剛力士」の仁王様が鎮座されています。入口の山号額と廉は龍谷寺檀家萩野昭夫氏によって寄贈されました。廉には「信を求めてこの門に入る二心安んじてこの門を出る」との龍谷三十六世成田芳髓大和尚の書が掲げてあります。一度山門をゆっくりご覧下さい。

龍谷寺年間予定

【平成18年】

12月31日(土) 除夜の鐘 打鐘
23時30分受付開始 甘酒のふるまいがあります。打鐘の方には幸運たるま進呈。お守り、絵馬もあります。

【平成19年】

1月1日(日) 元旦祈禱
1月8日(月祝) 大般若祈禱
2月15日(木) 涅槃会

お釈迦様がお亡くなりになった日。2月の初めから龍谷寺の寺宝「涅槃図」(江戸時代作)を本堂で公開します。ど

うぞお参りください。

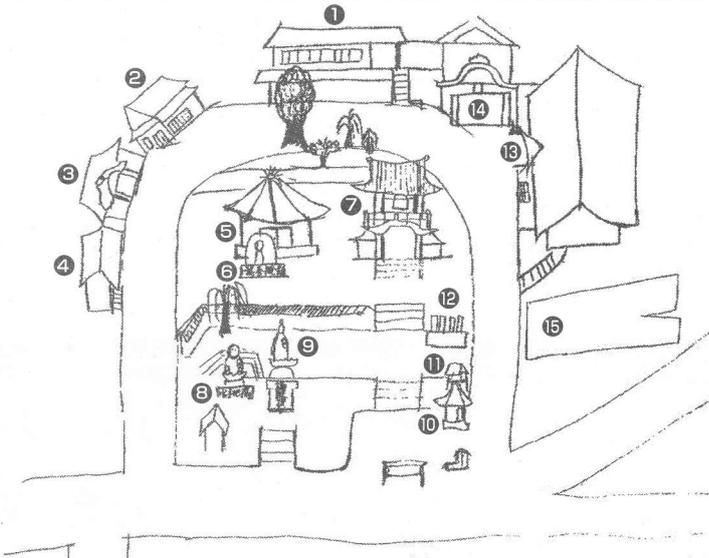
3月21日(火) 春彼岸会

4月1日(日) 第9回芳枝茶会

桜の下で一服のお茶をお楽しみください。3月1日よりお茶券を準備します。煎茶、薄茶2服で500円。ご希望の方はお申し出ください。煎茶席 山添京山中社、薄茶席 龍谷寺芳枝会社中

8月15日(水) 盆大施餓鬼会。
9時から初盆供養、10時から盆供養

龍谷寺境内案内



大般若祈禱のご案内

日時 平成19年1月8日(祝) 10時

龍谷寺寺宝の大般若経六百五十巻を拝読し、このお経をめぐる時の風に当たると、1年間無病息災で過ごせると言われています。今年は、大般若祈禱の後、中国琵琶奏者涂善祥(と・せんしょう)氏によるコンサートを開催します。1年の健康を祈って頂く恒例の「大根炊き」もご用意いたします。皆様のご来寺をお待ちしています。

涂善祥(と・せんしょう)氏略歴

中国上海音楽学院卒業後、東京藝術大学大学院修士課程終了。中国各地でコンサートを開催、多数の受賞歴を持つ一級演奏家。1989年来日し、国内各地はもとより、シンガポール、フランス、アメリカなどで演奏活動を行う。愛・地球博中国館音楽顧問等歴任

第9回芳枝茶会のご案内

今年も桜の下で一服のお茶をお楽しみ頂きたいと思えます。

日時 平成19年4月1日(日) 午前10時から午後3時まで

今年から1日かけて開催します

場所 龍谷寺境内にて

販売 3月初旬より茶券(2席500円)を準備いたします。ご希望の方はお申し出ください。



株式会社
ceremony

そつび社

互助会会員の方も安心してご相談下さい

0120-7712-49

日進市米野木町柿ノ木前26

☎0561-72-1169

事業部 ☎052-802-7712

長久手店 ☎0561-62-8287

ライフサポート会員制度

Familiar Club 会員
ファミリアクラブ 募集中

入金・年会費
月々の掛け金
無料!!